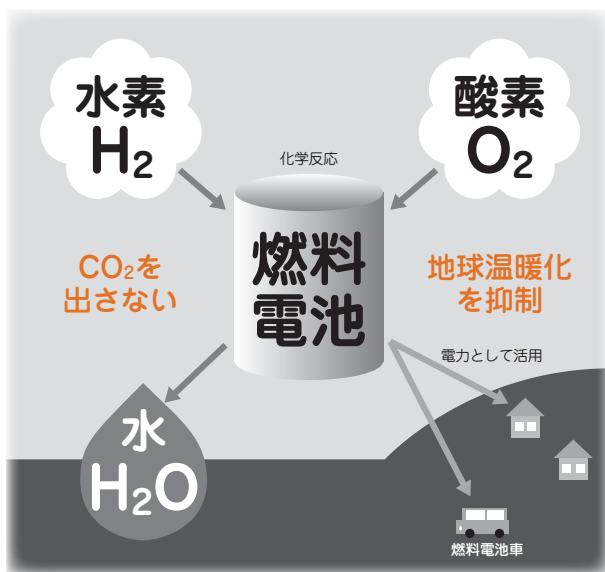


# 未来を想像しよう～水素社会の構築に向けて～

11月5日、7回目となった「ECOフェスタ古河2016」において、水素社会の到来に向けた展示や講演会がありました。エネルギー源として利用するとき、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を排出しない水素と共存する未来について考えてみませんか？

## ○水素社会って何？

水素と空気中の酸素から、二酸化炭素を排出せずに電気をつくりだす装置である燃料電池を活用した、家庭用電源や燃料電池車の普及が進んでいます。今後、水素を新たなエネルギー源として活用することで、化石燃料に頼らず、大幅に二酸化炭素を削減することができる環境にやさしい社会です。



▲地球温暖化防止への大きな期待がかけられています

## ○ECOフェスタ古河2016の様子

### 【燃料電池車の展示】



▲「燃料電池車が普及する将来イメージが実感できた」との声が寄せられました

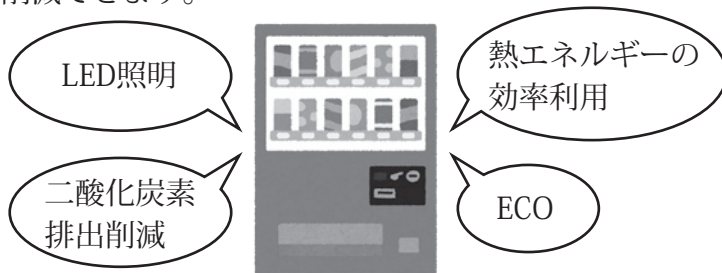
### 【高校生も参加した パネルディスカッション】



▲大人の発想を超えた考えもあり、実現できるかどうか楽しみです

## ○古河市の取り組み

今年度から設置した自動販売機は、夜間に冷やす「ピークシフト」やLED照明、ヒートポンプの採用など、環境に配慮した販売機となっており、夏の昼間に使用する消費電力を最大95%も削減できます。



グリーン購入や節電などは誰でも今すぐできる環境への配慮です。どんなことができるかみんなで考えてみましょう。